

宣教のはじまりから 信教の自由までの歴史概観

日本におけるキリスト教の宣教は、1549年、イエズス会員フランシスコ・ザビエルの鹿児島上陸によって始められた。その後、イエズス会に続いてフランシスコ会、ドミニコ会、アウグスチノ会等の会員が海を渡って相次いで来日し、各地に教会、修道院、学校、病院などを設置して熱心に宣教にあたった。領主、大名の中には積極的に教えを受け入れた者もいた。教会は驚異的な発展を遂げ、1614年の統計によれば、聖職者150名、信徒数65万人を超え、信徒の中には公卿2家及び大名55名があった。

1582年には天正少年使節がヨーロッパへ出発した。セミナリオやコレジオが設立され、またキリシタン版印刷など、教会は大いに発展した。しかし、1587年豊臣秀吉の時代に禁教令が敷かれ、しだいに迫害が始まり、1597年には長崎において26名の信徒・修道者・司祭が殉教をとげた。徳川幕府になるとさらに迫害が激しさを増し、多くの信者が追放、死刑などの極刑に遭った。その後日本は海外との交流を閉ざす鎖国を行い、キリスト教は長い潜伏期に入った。

1857年鎖国令が解除されると、外国人司牧のために、横浜ほかに教会が建てられ、パリ外国宣教会によりプチジャン師が長崎に着任、1865年に大浦天主堂を建て、浦上における旧信者の子孫を発見し、日本におけるカトリックはようやく復興した。(禁教廃止は、1873年)

その後、1889年に信教の自由が確保されると、カトリック、プロテスタント共に、多くの宣教師が来日し、各地に教会や、私立学校、病院などが建てられ、再び日本でキリスト教が盛んになった。

第二次世界大戦中にはキリスト教が迫害され、再び苦難の時代を迎えたが、1945年の敗戦後に日本国憲法が公布され、ようやく本当の意味での信教の自由が保障された。

現在信徒数428,748人(2020年)、最近では移動労働者ほかの外国人信徒が増加し、多文化共生による活力が期待される。

カトリック中央協議会 web サイトを参照

主な出来事

- 1549 フランシスコ・ザビエル鹿児島に上陸
- 1563 大村純忠が領主として初めて洗礼を受ける
- 1582 天正遣欧使節(4人の少年)がヨーロッパへ出発
- 1585 少年たち教皇グレゴリオ13世に謁見
- 1587 豊臣秀吉が禁教令発布、宣教師を日本から追放
キリシタン大名高山右近、領地と地位を失う
- 1597 26人のキリシタン(信徒・修道者・司祭)が長崎西坂で殉教
- 1613 徳川幕府、全国でキリスト教禁止令を実施
- 1614 高山右近フィリピンへ追放される
京都、長崎のすべての教会聖堂が破壊される
- 1619 京都大殉教
- 1622 55人のキリシタン(宣教師・信徒)が長崎で殉教(元和の大殉教)
- 1623 江戸大殉教
- 1627,1628/1629 絵踏みが行われる(聖画像を踏むことを強制される)
- 1633-37 長崎で司祭など殉教
- 1637 島原一揆(-1638)
- 1856,1857/1858 長崎奉行、絵踏みを廃止する
- 1862 26人の殉教者がローマで列聖される
- 1865 長崎大浦天主堂が完成。潜伏キリシタンの子孫たちがプチジャン神父に出会い、信仰を告白
- 1867 205人の日本の殉教者がローマで列福される
浦上4番崩れ(大規模な潜伏キリシタン摘発)
- 1868 明治政府はキリスト教禁教を受け継ぐ
114名の浦上の信徒が3藩に配流される
- 1870 3000人以上の浦上の信徒が21の他藩に配流される(-1873)
- 1873 諸外国からの抗議で、キリスト教禁止の高札が撤廃、キリスト教禁教政策に終止符が打たれる
- 1889 大日本帝国憲法において、日本国内での信教の自由が保障される
- 1945 広島と長崎に原子爆弾が投下される
日本がポツダム宣言を受諾、終戦を迎える
- 1947 日本国憲法施行、信教の自由が保障される
- 1981 初の教皇来日。ヨハネ・パウロ二世教皇が来日し、東京、広島、長崎を訪問
- 1987 聖トマス西と15殉教者が列聖される
- 2008 ペトロ岐部と187殉教者が列福される
- 2017 ユスト高山右近が列福される
フランシスコ教皇来日。長崎、広島、東京を訪問

日本のカトリック教会 —その歴史と現在—



大浦天主堂(長崎)



現代の教会とその活動

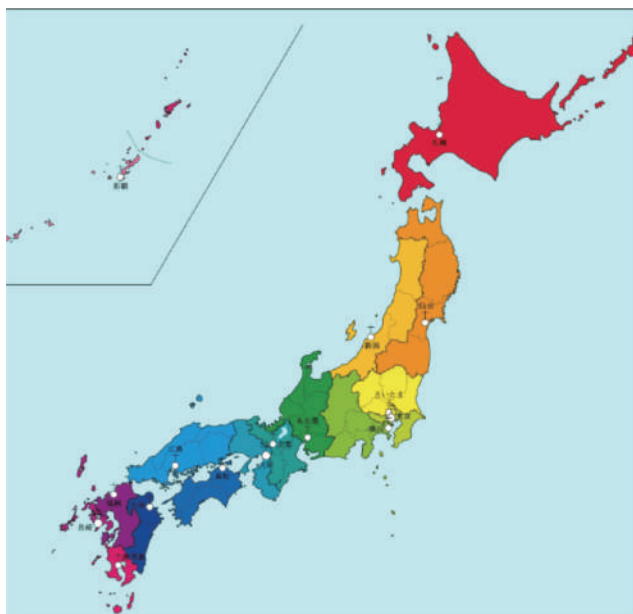


アルペなんみんセンター (NPO 法人)
イエズス会修道院を活動拠点として
難民シェルターを提供
(神奈川県 鎌倉市)



シナピス
大阪教区社会福祉部門事務局
難民、子どもの支援

日本の 16 司教区



- 札幌教区
- 大阪大司教区
- 仙台教区
- 広島教区
- 新潟教区
- 高松教区
- さいたま教区
- 福岡教区
- 東京大司教区
- 長崎大司教区
- 横浜教区
- 大分教区
- 名古屋教区
- 鹿児島教区
- 京都教区
- 那覇教区

2020 年現在の統計

信徒数	428,748
教会数	960
修道院	713
カトリック教育施設	835



カリタス南相馬
東日本大震災被災地支援
(福島県 南相馬市)



連帯して活動する
日韓カトリック脱核グループ



イエズス会下関労働教育センター
子どもとみんな食堂、外国人、
朝鮮学校支援など
(山口県 下関市)